

かがわけんさぶろういけとちかいりょうく

香川県三郎池土地改良区

～多面的機能を有するため池との良好な共存～



クリーンアップ作戦



専門家による生態説明

経緯

- 堤防エリアを公園整備したことや、近傍にある日山の登山道を整備したことで利用者が増え、ゴミ対策と景観保全、水質改善が課題となった。
- 地域住民、児童、高校生などの協力を得て、平成22年からクリーンアップ作戦を展開することにした。

取組内容

- 3年に1度池干しの落水にあわせてクリーンアップ作戦を実施し、ゴミの除去や外来生物の駆除を行う。
- 平成25年から小学生の校外授業として、三郎池に住む生物について、淡水魚の専門家を招いて説明会を開催。
- 地元小学生と一緒にゆるぬきを実施。

活動の効果

- クリーンアップ作戦により水質が改善し、捕獲したすっぽんを活用してジャンボタニシも駆除できた。
- 三郎池の多面的機能について地域住民の理解が進み、緊急時の避難経路等について池の存在を意識した計画が策定できた。
- ゆるぬきを体験したり生物を観察したりすることは、子供たちにとって池に関心を持つ大切な機会になっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

クリーンアップ作戦の活動をさらに活発化したい。今後も地域の人々と連携して、ため池の重要性をPRしながら適切な維持管理に努めたい。

住所・電話番号・SNS等

高松市三谷町2286-3 Tel:087-889-0005

とくていひえいりかつどうほうじん おくしおのえこうりゅう

きょうかい

特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会

～スローライフを楽しみながら持続可能な社会に貢献～



楽農人事業 茶畑再生



木造講堂で うたごえ喫茶

経緯

- かつては木・炭・農産物の供給地や交通の要所として賑わっていたが、過疎化が進んで小・中学校も次々と廃校になり急速に地区の活気がなくなっていた。
- 有志20名が中心となり、地区の活性化を目的として平成18年に当協会を設立した。

取組内容

- 塩江茶の畑の多くが耕作放棄地となって景観を損ねていたことから、「楽農人事業」として茶畑の再生やソバの栽培を行う。
- 地元の食材を使った食事会等を行う「まんぷく会」や木造講堂の響きが魅力の「うたごえ喫茶チャロ」を毎月開催。
- 山歩きや炭焼き体験など自然に触れながら環境への意識を高めるイベントの実施。

活動の効果

- 少しずつ耕作放棄地を減らすことに貢献している。現在はお茶だけでなく、地元農家と協力してソバや野菜も栽培して道の駅等で販売している。
- 廃校跡の「モモの広場」を拠点としたイベント「まんぷく会」は料理、寄席、音楽、ダンスなど多彩な内容で継続し開催が200回を超えた。長年地区内外の人々が交流の輪を広げ、奥塩江の魅力を感じながらスローライフを楽しんでいる。

応募団体からのアピール・メッセージ

農業経験がなくても楽しみとして農業に関わる「楽農人」の活動が注目されています。自然と歴史の豊かな奥塩江と関わりを持つことがステータスと思われるような地域になることを目指します。

住所・電話番号・SNS等

高松市塩江町上西甲29-1

～障がい者と農業者の架け橋として～



水耕栽培の収穫作業



採種玉ねぎの収穫作業

経緯

- 農家の高齢化が進み、後継者不足のために作付面積が減少した。
- 障がい者福祉施設では、受託作業の減少や自主製品の販売不振から収益が減少し、一人あたりの月平均工賃が1万円台と低迷。
- 農福連携によって双方にとってプラスになる取組がスタートした。

取組内容

- 平成23年から、「共同受注窓口」を設置し、農作業請負のマッチングを行う。
- 障がい者の工賃向上を図るため、作業の種類や量を見直して値上げ交渉を実施。
- 農作業に参加する障がい者施設を増やすため、農福連携支援員やジョブコーチを委嘱して現場で細かな支援ができるようにした。

活動の効果

- 参加施設数、農作業依頼者数ともに増加し、令和4年度は前年度比107.3%の延作業人数となった。
- 効率的に作業ができるようにマッチングを工夫することで、出来高が増えて工賃が上がった。前年度比114.7%の増額となった。
- 「ノウフク・アワード2020 審査員特別賞」を受賞。

応募団体からのアピール・メッセージ

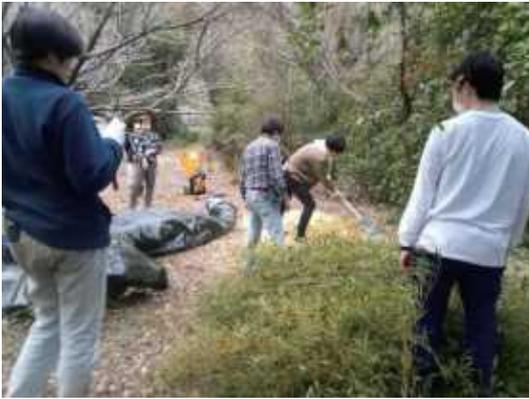
参加する福祉施設を増やし、継続して農作業に取り組めるように現場で細やかな支援を行っていきたい。農家と施設利用者の所得や工賃向上が生きがいややりがいにつながるように、他人と接する時の言葉や態度は力まず肩の力を抜き、自然体で、誠心誠意その人の為に、自分ができる全ての事を考えて実行することが大切です。

住所・電話番号・SNS等

高松市元山町1193-2 Tel:087-813-1420

しわくぶたい
塩飽部隊

～瀬戸内海の島はSDGsラボ～



生態系調査



企業新人研修・移住者とのトークセッション

経緯

- 手島は高齢化率90%、周囲10キロ、人口わずか15人。平成28年に京都大学の学生と島を訪問し、島の人たちの力強さと優しさに感銘を受ける。
- 手島を自然循環のモデルアイランドにしようと、島民、京大生、NPO「四国夢中人」が一緒になって「塩飽部隊」を結成。

取組内容

- 「瀬戸内海海洋ゴミゼロ作戦」に協力し、海岸に漂着したゴミを回収。
- 大学生による生態系調査。
- 島の歴史や暮らしを後世に残すため、カナダ人YouTuberが日本語・英語・仏語でドキュメンタリーを制作。
- 企業研修や外国人のキャンプなどで島民との交流の機会を創出。

活動の効果

- コロナ禍以降は島民の暮らしにフォーカスした動画配信を始め、「自然と人の融合」を世界に向けてアピールしている。
- 企業や大学、市民団体を巻き込んで活動することによって、様々な分野の人々の交流を生み、島を守る担い手の確保につながっていく。

応募団体からのアピール・メッセージ

島民の暮らしや海洋漂着ゴミ回収プロジェクトを通して、SDGsの観点から「我々は今何をすればいいのか？」を問いかける動画を配信しています。

住所・電話番号・SNS等

丸亀市7番丁-71

さかいでだいいちこうとうがっこう しょくもつか
坂出第一高等学校 食物科

～高校生が伝える生きた教材～



調理実習



完成メニュー



試食会でプレゼンテーション

経緯

- 市が令和4年に各学校併設の調理場を統合して坂出市学校給食センターを新設。多彩なメニューが調理可能になった。
- 市内の児童・生徒に食を通して地域への理解を深めてもらうため、高校生の発想力を活かして地産地消の給食メニューを考案することになった。

取組内容

- 地場産物について説明を受け、栄養バランスやアレルギーへの配慮、目安金額などを学習後、班ごとに給食メニューを考案。
- 調理実習を行い栄養教諭の講評を受けてメニューを改良。
- 関係者を招いて試食会を実施。
- 金時いもの収穫を体験。
- 小・中学生に食育授業を実施。

活動の効果

- 給食ならではの制約などに苦慮しながらも、仲間と協力して柔軟な発想でメニューを完成させた。試食会でも好評を得て、5品(ジェノベーゼソース風スパゲッティ、鶏肉と三金時のみかんソースあえ、ダブル金時サラダ、金時みかん香るスズキの甘辛、金時いもとりんごのケーキ)が給食で提供されることになった。
- メニューの考案や農業体験は将来にもつながるやりがいのある取組であり、想像力や発想力を鍛える良い経験になった。

応募団体からのアピール・メッセージ

子どもたちが地元の食材を楽しみながら味わえるメニューが完成した。取組を通して得た知識を活かして小学校で食育授業を行うなど、地産地消を広めるきっかけづくりも予定している。

住所・電話番号・SNS等

坂出市駒止町二丁目1番3号 Tel: 0877-46-2157

大野原地域資源保全会

～環境保全活動で地域住民交流・連携を図る～



道路沿いのゴミ拾い



公共エリアに植栽

経緯

- 地域の国道や県道沿いの水路や農地に空き缶等の投げ捨てが多く、その対応に苦慮していた。
- 平成26年度より多面的機能支払交付金を活用して地域の環境保全活動に取り組む。

取組内容

- 地域住民が世代を超えて交流し、地域を守っていくため、地域内の風の子ども会、八兵子ども会、寿子ども会、上杉子ども会に呼び掛け、子どもたちを中心に親子でのゴミ拾いや落ち葉拾い、カーブミラー清掃等を実施。
- 環境美化のため公共エリアに植栽。

活動の効果

- 子どもたちと一緒に活動することでお互いが顔見知りになって、子どもたちは挨拶ができるようになった。大人も、子どもに声かけするなどして防犯上の効果が見られるようになった。
- 地域を良くしようとする意識が高まり、住民同士の関係が良好になってきている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の子どもの数が減っていく中で、清掃活動を通して世代を超えた交流を行っている。地域の環境保全の重要性や地域住民の交流による地域の活性化について理解してもらえるようより積極的に活動していきたい。

住所・電話番号・SNS等

観音寺市大野原町大野原1368-1 Tel:0875-54-2035

ごごうさと かい
五郷里づくりの会

～GOGO五郷！文化は山から降りてくる～



手作りの石窯でピザ作り体験



蕎麦打ち体験



五郷水車

経緯

- 人口減少や高齢化が進む中、市町合併による地名の消失や小学校の廃校により地域コミュニティの存続が危ぶまれていた。
- 平成23年、五郷地域の活性化に寄与するため、活動の母体となる「五郷里づくりの会」が発足。

取組内容

- シンボルの「五郷水車」を復活させ、「水車米」の精米やそば粉作りなどに活用。
- 地元の農産物を活用したピザ作りやそば打ち体験を実施。
- ガイドと共に里山を歩いて郷土料理を楽しむツアーを開催。
- 農作業を体験する「百笑人イベント」を開催。
- SNSや「里づくり新聞」で情報を発信。

活動の効果

- 地域住民の理解が深まって団結力が一層強まった。
- 情報発信によって知名度が上がり、豊稔池などを訪れる人が増えた。
- 「五郷ピザづくり体験」の収益化に成功し、小さな経済の循環に貢献している。
- 「百笑人イベント」にはSNSを通じて県外からも参加があり、関係人口の創出・拡大につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の資源「ヒト・モノ・コト」を活かし「人が輝く里山づくり」を目指して、五郷の独自性を大切にしながら活動しています。

住所・電話番号・SNS等

HP: <http://gogou.jp/>

観音寺市大野原町井関696 Tel:0875-54-4489 FB: 五郷里づくりの会

油井水土里保全組合

～各種団体の連携、協力による農村環境づくり～



アサギマダラの飛来



公園に鯉のぼり掲揚

経緯

- ほ場整備をきっかけとして、遊休農地の解消と受け継いできた水資源の維持管理を図るため、当組合が発足。
- ため池を中心とした農村環境を守るため、一丸となって住みよい、楽しい、美しい地域づくりに取り組んでいる。

取組内容

- 旧五兵池を公園整備して、桜などを植栽しビオトープを造成。平成29年よりアサギマダラを呼び寄せるためにフジバカマを栽培。
- 広庄池、遊水池の堤防にアジサイなどを植栽。水資源の環境保全のため、藻の除去や水路清掃等の保守作業を定期的実施。
- スポーツ大会や花見、いきいきふれあいサロンなどの開催。

活動の効果

- フジバカマの栽培によりアサギマダラの飛来を確認した。
- ペタンク大会など子どもから高齢者まで楽しむことができるイベントの開催で三世代の交流が深まっている。
- 自治会、老人会、子供会などとの協力体制ができ、地域の環境作りがますます促進されている。

応募団体からのアピール・メッセージ

フジバカマの栽培規模拡大に努め、旅するチョウ「アサギマダラ」が飛び交う憩いの場として多くの人に訪れてもらいたい。

住所・電話番号・SNS等

観音寺市柞田町乙3319



いっぱんしゃだんほうじん

しつだちく

きょうぎかい

一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会

～津田町の365日をデザインする～



PORTO PIZZA



空き家DIYの様子

経緯

- 漁業が衰退し、地区の将来に問題意識を持った住民らが前身の団体を設立。農林水産省の交付金事業に採択されたことをきっかけに活動を開始。
- 地域内の事業者同士のつながりが生まれて、継続的にまちづくりを推進していきたいという想いが強まり当協議会を設立。

取組内容

- 地域おこし協力隊として店長を募り、使われなくなった漁業倉庫を改修してピザ店「PORTO PIZZA」をオープン。
- 倉庫や空き家を活用して新規出店したい人の誘致や移住者を支援。
- 関係人口の創出を目的に、長期滞在(2週間～1か月)しながらまちづくりに関わってもらう機会を設ける。

活動の効果

- ピザ店はオープン3か月で1,246人が来店した。地元の津田高校の生徒もDIYに参加したり、まちあるきMAPを作成するなど活動の頼もしいパートナーとなっている。
- 店長の選考で採用されなかった方をサポートすることで移住につながった。
- 交流拠点となるピザ店を20代の移住者に任せたことで、エリア全体に若者がチャレンジしやすい土壌ができた。新たに3名が飲食店や雑貨店を開業することになり、空き家活用のモデルケースになっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域内で資源を循環させる取組として、造園業者が廃棄する木材などを薪にしてピザを焼き、できた木灰は藍染め工房で使っている。今後は電動キックボードやレンタサイクルなどを整備し、地域を周遊しやすくして集客につなげたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市津田町鶴羽1520-130 Tel:080-8638-4528

かがわけんりついでこうとうがっこう

どうこうかい

香川県立石田高等学校 ワンダーフォーゲル同好会

～大人から教わる山仕事 僕らの青春～



神饌田で田植え



囲炉裏で野外炊飯



渇水対策として上流に新水源設置

経緯

- 昆虫や水生生物の研究者である卒業生が、耕作放棄地だった里山を一人で整備し守っていた。
- 体力の限界を感じて母校の後輩たちを里山に誘う。
- 活動の楽しさや面白さは代々受け継がれ、学校を飛び出した「山の授業」となっている。

取組内容

- 毎月第1・第3日曜日に五名地区の里山に入り、「Gomyo倶楽部」の大人たちに教わりながら棚田の耕作、植物観察、水源の管理、下草刈り等の里山保全活動を行う。
- 自作の囲炉裏で昼食を野外調理。
- 春の自然観察会やお田植え祭、秋の稲刈り体験会など、地域の子どもたちと行う活動の運営に協力。

活動の効果

- 以前は竹が山を浸食して、伐採するのに何年もかかるほど荒廃していたが、今は棚田の米も収量が増して健全な里山に再生しつつある。
- 活動の輪が広がって香川大学が棚田で水位自動観測システムの研究を始めた。
- 支えてくれる大人たちと一緒に活動を続けることで、自信を持って自然に向き合うことができるようになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

山に分け入ると知らないことがいっぱいの世界がある。大人たちから教わる山仕事も調理もすべてが充実して面白い。その魅力を里山から発信し、里山保全活動を進化させていきたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市寒川町石田東甲1065 Tel: 0879-43-2530

奨励賞

かぶしきがいしゃ あきすいさん

株式会社 安岐水産

～海を知る、遊ぶ、食べる、体験する。～



お魚捌き方教室



お魚タッチプール



ふるさと海岸ビーチクリーン

経緯

- 「生きる喜びを創る」という経営理念のもと「古くから培った日本の魚食文化を次世代につなぐ」という熱い想いを抱く者が集まって「お魚生活すすめ隊」を結成。
- 香川県のブランド魚の魅力やおいしさを知ってもらう活動、豊かな海を守る環境保護活動など漁港や地域の活性化に取り組む。

取組内容

- 親子を対象とした漁師さんとの食育ツアーやお魚捌き方教室などを開催。
- 里海ガイドを招いてゴミに対する考えを深めながらビーチクリーンを実施。
- 香川大学や地元企業と連携して地元食材を使った商品の開発・販売。
- アンテナショップ「ねこ海レストラン」をオープン。
- 津田港わくわくフェスティバルを開催。

活動の効果

- 参加者にお魚を身近に感じてもらいながら、命をいただくことの意味を伝えることができた。
- マルシェにも出店し、「讃岐でんぶくの唐揚げ」や「さぬき蛸のたこ飯」など県のブランド魚の魅力を市外の人にも知ってもらえた。「さぬき蛸といりこの瀬戸内アヒージョ」は「かがわ県産品コンクール」で知事賞を受賞して贈り物としても人気が高い。
- 津田の松原周辺は近年ホットなスポットになってきている。

応募団体からのアピール・メッセージ

「生きる喜びを創る」という経営理念のもと、たくさんの方にお魚の魅力やおいしさを知っていただく活動を継続していきたい。地域が一体となり、人が集う場所作りや津田に足を運んでもらえる動線を作っていきたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市津田町津田1402-23 Tel:0879-42-3037

かぶしきがいしゃ

株式会社 アドラボアグリ

～わノクニファーム×やさいバス＝農家の希望～



水耕栽培施設での作業

わノクニファームの
ベビーリーフ

やさいバス

経緯

- 地域貢献のため農福連携を念頭において農業を始めようと決意。
- 障がい者が室内で通年働けるように、「ベビーリーフの水耕栽培」を選択して「わノクニファーム」の事業を開始。
- 農家の所得向上を目的に、流通コストを抑えて地域の生産者と消費者を結ぶ「やさいバス」事業に着手。

取組内容

- ベビーリーフ栽培に加えて果樹（桃・レモン）栽培にも取り組み、障がい者の特性に合った作業ができるように環境を整えて雇用を促進。
- 「やさいバス」事業を行政や地元企業と連携して運営。様々な小売店と交渉を重ねて販路を拡大し、愛媛県でも事業を開始。
- 今後、学校給食センターと連携して地域農家の規格外品を提供し、地産地消を促進。

活動の効果

- 徐々にベビーリーフの受注が増えて安定した障がい者雇用が進んでいる。今後はコレワークも検討中。
- 事業拡大により近隣農家の閑散期の雇用を生み出して地域活性化に貢献している。
- 「やさいバス」事業の販売先が増加して、農家の販路拡大や所得向上、地産地消やフードロス削減などにつながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域貢献を第一に考えて農福連携に取り組んでいる。行政や企業、JAなどを巻き込んで地域の農業を元気にするようなアイデアをどんどん発信していきたい。

住所・電話番号・SNS等

三豊市三野町大見甲469